

四国初、SDGsに基づく 私募債『ちいきのグリーン』 を活用した寄附

住宅メーカーである(株)日進堂(高松市 喜久山知哉社長)は、高松信用金庫(大橋和夫理事長)が取り扱う「しんきんSDGs私募債『ちいきのグリーン』」を発行し、その手数料の一部を活用して、(公財)かがわ水と緑の財団(大山 智理事長)に15万円を寄附した。この私募債の発行額は五千万円で、『ちいきのグリーン』を通じた寄附が実施するのは四国では今回が初。

『ちいきのグリーン』は、SDGsの目標達成を支援する取り組みの一環として導入された私募債。

発行企業が私募債を発行する際、引受金融機関である信用金庫と財務代理人の信金中央金庫がそれぞれ受

け取る手数料の一部(発行額の〇・三〇%相当)を割引し、その分を超える額を、企業が地域の環境保全活動を行う法人・団体へ寄附できる仕組みとなっている。

寄附の贈呈式はホテルマリンパレスさぬきでおこなわれ、日進堂の喜久山社長、かがわ水と緑の財団の大山理事長、信金中央金庫の清田直人支店長、高松信用金庫の大橋理事長らが出席。式典において、喜久山社長は「県産ヒノキの活性化をはじめ、地域の森林資源の維持・発展に貢献できれば嬉しい」と語り、目録を大山理事長に手渡した。



今回の寄附金は、里山の整備、学校の緑化、水源地域の森林保全など、幅広い緑化活動に活用される。